



町のうごき

人口男	4,407
女	4,656
計	9,126
世帯数	2,062
出生	13
死亡	3
転入	9
転出	13

59. 1. 1 現在

はつもう  
氏神さまへの初詣で

境内のかがり火が揺れ動きもえ上がる。

あたかも、生あるもののように火の粉が暗闇に舞いのぼる。

この里に実りあれ、氏子に幸あれと……新年をきして禰宜さまの氏神さまへのお祈りが始まる。

やがて、新年を祝うあいさつの声があちらこちらで交わされる。

新しいものへの期待と、神殿への畏敬の心、それに身をひき締る寒さの中で、人々は祈る。——まず家族みなが健こやかであれ、子供達に恵みあれと願う。——

私達の町も、人と人とのふれあいを大切にし、平穏で堅実な進展の道を歩み続ける一年でありたいと願う。

本年も、町民の皆さまにとって、佳き年でありますようお願いいたします。



# 健全財政をモットーに 町総合計画の推進を



町議会議長 杉本 光郎

新年あけましておめでとうございませう。  
去る七月の町議会選挙には、多数の皆様御協力を得まして八回目当選の栄をいただき、初臨時議会には議会の推進により議長重席を汚すことになりました。何とぞ今迄同様御指導、御協力のほどよろしく御願ひ申し上げます。

さて、昨年は県議会議員、参議院議員、町議会議員選挙が行われ、そして、年末には長い国会空転のあげく衆議院議員選挙と一年を通じて選挙の年であり又、行財政改革に明け暮れた年でありましたが、幸にして我が町は町民皆様方の御協力と執行部各位の努力によって一番大切な財政健全化を計りながら度会町総合計画実施を進めることが出来ましたことを皆様と共に御喜び申し上げます。

いよいよ昭和五十九年新春を迎え、気持ちを新にして二十一世紀への足固めを致さねばなりません。

また、来る四月には身近な町長選挙を控えております。皆様方の公正な御判断を御願ひ致したいものであります。

現在度会町の重点事業は先ず第一に小学校の改築と農業基盤整備事業、そして度会町唯一の

特産物である茶葉の振興でありませう。厳しい財政状況の中ではございませうが執行部、議会が一致協力して町政推進に努力いたす所存でございませう。



就任の  
ごあいさつ

教育長 大北 友夫

最後にになりましたが、皆みな様の御健勝とそれぞれの御家庭の益々の御繁栄を祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

明けましておめでとうございませう。

皆様にはいよいよおすこやかに、おそろいで新春を迎えられたこととおよろこび申し上げます。

このたび町の教育行政に大きな実績をあげられ、ご勇退になった井戸本教育長さんのおとうけて、町教育委員会に勤務することになりました。

先日も事務引継ぎを行いました。その席では、教育委員会の仕事に如何に広範囲でまた重要であることに驚くとともに、その職責の重大さを今更のよう痛感いたしております。教育の荒廃が叫ばれ、今後ま

ットに度会町総合計画推進に取り組みたいと思っております。何とぞ皆様方の一層の御指導と御協力のほどを重ねて御願ひ申し上げます。

## 退任の ごあいさつ

井戸本 実

新年を迎えて、皆様益々のご隆祥を心よりお祈り申し上げます。

さて、私こと昨年十二月任期満了をもって教育長の職を退任いたしました。

就任以来四か年私のような微力なものが曲りなりに任期を完うすることができましたことを有難く存じています。

これもひとえに、特に教育にご理解の深い町長さんを始め、町議会や教育委員会のご配慮と学校の先生方やPTAの方がたなど関係各位の教育に対する熱意と温かいご支援の賜と心よりお礼申し上げます。

明るく、生きがいのある町づくりに教育の果たす役割は大きいものがあります。幸いに後任に教育経験が豊かで教育行政にも高い見識をもつ大北友夫氏を迎えて嬉しく存じます。

終りに新教育長さんを中心に度会町の教育が益々充実発展することを祈念して退任のご挨拶といたします。

# 町ぎかい

## 一般会計予算総額

### 一八億九、六六一万八千円に補正

#### 可決された議案

#### 第五回 臨時議会

昭和五十八年第五回臨時議会が、去る十一月二十一日(月)開かれ、一般会計補正予算案(第四号)及び任期満了に伴う新教育委員の同意を求める二議案が提出され同日議決された。

また、十二月二十日(火)から二十三日(金)までの四日間に行われ、第四回定例町議会が開かれ昭和五十八年度一般会計及び特別会計補正予算案など十二議案が提出され、議案に対する質疑及び西村、小岸、山西、北川、山下、岩本の各議員から一般質問があり、慎重審議された結果、いずれも原案どおり可決されました。

追加されました。

**昭和五十八年度 度会町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)**  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四十九万八千円を追加し、歳入歳出総額を三億一千九百九十七万四千円と定めました。

主な内容として、歳入では、前年度決算による繰越金四千五百三十八千円を追加し、歳出として保険給付費等の予備費として追加計上されました。

**昭和五十八年度 度会町簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)**  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、四百三十八万六千円を追加し、歳入歳出の総額を一億三千七百九十九千円と定めました。

主な内容として、歳入では、新規加入分担金四百一十九万九千円、水道使用料二百五十万三千円が追加され、歳出では、東部簡水配水管増設工事費として三百八十二万一千円が追加されました。

**昭和五十八年度 度会町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第一号)**

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、六十九万八千円を追加し、歳入歳出の総額を千八百四十四万五千円と定めました。

これは、住宅新築資金貸付事業の改修資金貸付限度額が三百万円から三百五十万円に引き上げられたことにより追加補正されたものです。

**度会町老人保健特別会計補正予算(第二号)**  
歳入歳出予算の総額にそれぞれ千九百六十六万二千円を追加し、歳入歳出の総額を二億四千四百三十五万一千円と定めました。

これは、老人保健医療給付費千六百三十三万二千円、過年度分医療費精算金三百三十三万円の追加され、国庫負担金、前年度繰越金、一般会計繰入等が歳入補てんされます。

**昭和五十八年度 度会町農業共済事業会計補正予算(第一号)**  
歳入歳出予算の総額にそれぞれ、五百四十七万六千円を追加し、歳入歳出予算総額を三千四百四十七万円で定めました。

**教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて**  
任期満了に伴う新委員の任命について同意を求めたもの。

#### 第四回 定例町議会

**昭和五十八年度 度会町一般会計補正予算(第五号)**

**昭和五十八年度 度会町一般会計補正予算(第四号)**

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二百七十二万四千円を追加し、歳入歳出の総額を十六億四千七百四十一万四千円と定めました。

主な内容として、歳入で、地方交付税一億八百二十八万一千円、現年災土木施設災害復旧費国庫負担金六百三十七万五千円、過年災土木施設災害復旧費県補助金千六十四万八千円、現年発生補助災害復旧費(公共土木施設、農業施設、林道施設)千五百八十万円が追加され、歳出では、財産管理費(庁舎増築等)四千四百四十五万六千円、地域改善対策事業費五百二十二万五千円、山村振興対策事業費(測量設計委託料他)三百九十九万五千円、町道維持補修工事費及び改良、舗装工事費二千八百万円、県道改良事業負担金六百七十万円、現年災農業施設災害復旧費千八百三十万、現年災林業施設災害復旧費九百七十六万九千円、現年災公共土木施設災害復旧費九百五十七万八千円が追加されました。

円の農薬代の補助として共済加入者に支払うものです。

**度会町職員給与条例の一部を改正する条例**

一般職の国家公務員の給与と規定の取扱いに準じ町の職員給料の月額、手当の改定を行なったもの。

**度会町立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例**

内城田小学校屋内運動場の新築に伴ない、本町の学校施設の開放に関する施設に当該体育館を追加したもの。

**度会町農業共済条例の一部を改正する条例**

家畜共済の共済掛金の納期限、分納及び特別積立金の取崩しに関して一部改正されたもの。

**度会町農業共済事業運営協議会委員の委嘱につき同意を求めることについて**

任期満了に伴ない、新たに委員の委嘱について同意を求めたもの。  
新しく委嘱された、農業共済事業運営協議会の委員さん  
岩本 忠義 中之郷  
西田 建次 牧戸  
奥村 実 坂井

奥野 丈夫  
作野 保人  
門野 知生  
小野 茂夫  
前田 任美  
大西 賢一

小川 萩  
小 出  
脇 原  
栗 原  
注連指  
棚 橋

西村 寿郎  
大野木  
度会町立会演説会の開催に関する条例を廃止する条例  
任意制公営立会演説会の開催に関する公職選挙法の規定が改

正されたことに伴ない廃止するもの。  
度会町歳入歳出決算の認定について  
昭和五十七年度の一般会計、

国民健康保険特別会計、簡易水道事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、老人保健特別会計、財産に関する調査についてそれぞれ認定されたもの。

# 昭和57年度

## 決算の概要

昭和五十七年度の一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、老人保健特別会計の各歳入歳出決算及び度会町財産に関する調査は、村山正男、中廣文男両監査委員の審査をうけて、昭和五十八年十二月二十日招集された第四回定例町議会に提出され、十二月二十三日認定されました。

分担金、負担金  
2.9% (59,963千円)

使用料、手数料  
0.6% (12,508千円)

財産収入  
0.2% (4,543千円)

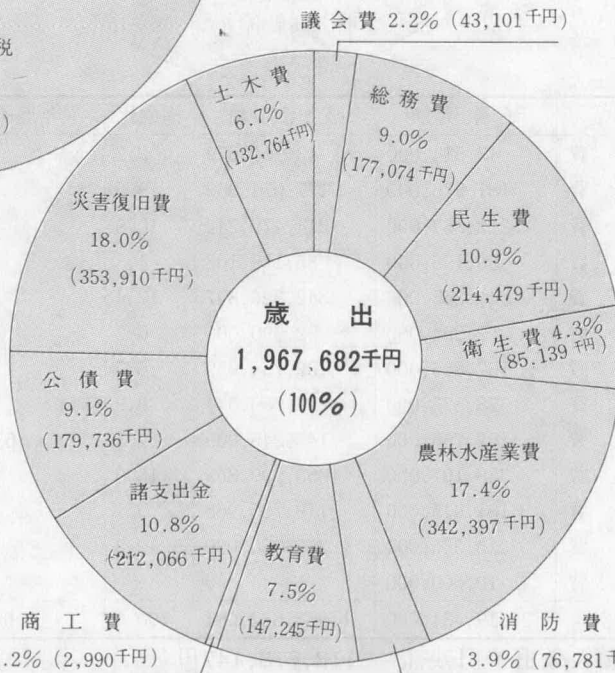
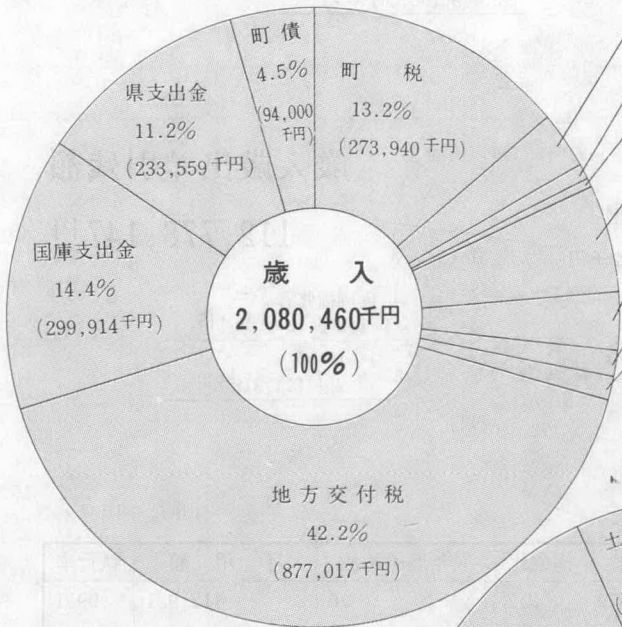
繰越金  
5.4% (112,940千円)

その他  
3.2% (66,569千円)

地方譲与税  
1.2% (24,063千円)

自動車取得税交付金  
1.0% (21,444千円)

議会費 2.2% (43,101千円)



### 一般会計 目的別決算状況

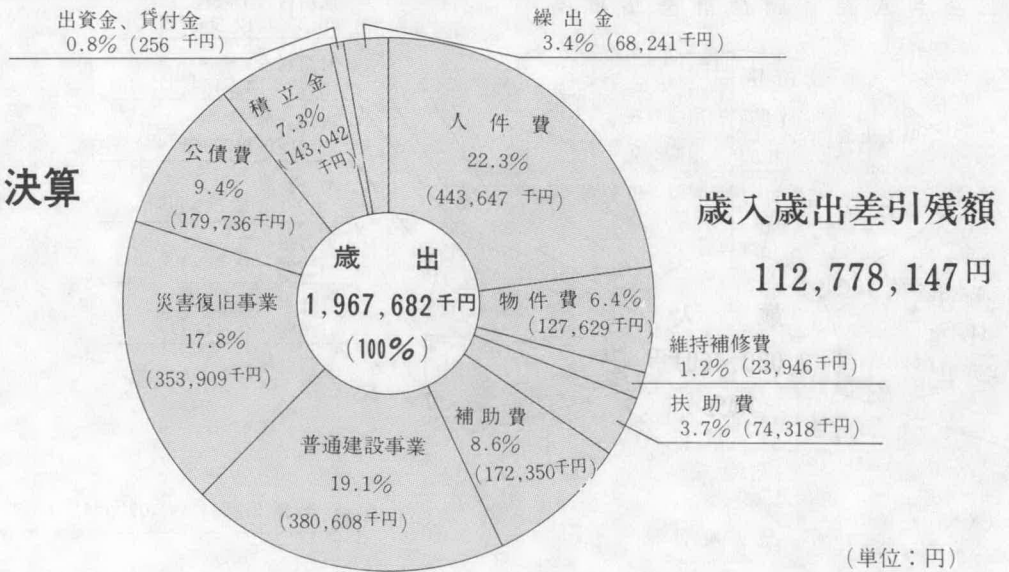
# 一般会計決算

(歳入)

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収入未済額	徴収率
町 税	231,511,000	277,702,543	273,940,118	13.2	3,762,425	98.6
地 方 譲 与 税	21,100,000	24,063,000	24,063,000	1.2	0	100
自動車取得税交付金	18,800,000	21,444,000	21,444,000	1.0	0	100
地 方 交 付 税	877,017,000	877,017,000	877,017,000	42.2	0	100
交通安全対策特別交付金	644,000	644,000	644,000	—	0	100
分担金及び負担金	59,185,000	59,962,685	59,962,685	2.9	0	100
使用料及び手数料	10,008,000	12,508,181	12,508,181	0.6	0	100
国 庫 支 出 金	298,939,000	299,914,338	299,914,338	14.4	0	100
県 支 出 金	233,976,000	233,558,870	233,558,870	11.2	0	100
財 産 収 入	4,404,000	4,542,547	4,542,547	0.2	0	100
寄 付 金	22,405,000	22,579,902	22,579,902	1.1	0	100
繰 入 金	94,000	0	0	—	0	—
繰 越 金	112,940,000	112,940,159	112,940,159	5.4	0	100
諸 収 入	33,131,000	43,345,431	43,345,431	2.1	0	100
町 債	95,300,000	94,000,000	94,000,000	4.5	0	100
歳 入 合 計	2,019,454,000	2,084,222,656	2,080,460,231	100	3,762,425	99.8

## 一般会計 性質別歳出決算 の状況



(歳出)

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	構成比	翌年度繰越額	不用額	執行率
議 会 費	43,514,000	43,101,079	2.2	0	412,921	99.1
総 務 費	181,576,000	177,074,369	9.0	0	4,501,631	97.5
民 生 費	222,867,000	214,479,242	10.9	0	8,387,758	96.2
衛 生 費	88,156,000	85,139,108	4.3	0	3,016,892	96.6
農 林 水 産 業 費	347,863,000	342,396,837	17.4	0	5,466,163	98.4
商 工 費	2,994,000	2,990,000	0.2	0	4,000	99.9
土 木 費	137,865,000	132,764,059	6.7	0	5,100,941	96.3
消 防 費	78,875,000	76,780,544	3.9	0	2,094,456	97.3
教 育 費	152,266,000	147,245,009	7.5	631,000	4,389,991	96.7
災 害 復 旧 費	358,197,000	353,909,869	18.0	0	4,287,131	98.8
公 債 費	181,915,000	179,735,968	9.1	0	2,179,032	98.8
諸 支 出 費	213,366,000	212,066,000	10.8	0	1,300,000	99.4
予 備 費	10,000,000	0	—	0	10,000,000	0
歳 出 合 計	2,019,454,000	1,967,682,084	100	631,000	51,140,916	97.4

歳入歳出差引残額 112,778,147円

### 国民健康保険特別会計決算

(歳入)

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収入未済額	徴収率
国民健康保険税	115,210,000	120,495,282	116,088,980	35.7	4,406,302	96.3
使用料及び手数料	2,000	190	190	—	0	100
国庫支出金	141,941,000	154,045,314	154,045,314	47.3	0	100
県支出金	500,000	685,000	685,000	0.2	0	100
繰入金	3,000,000	3,000,000	3,000,000	0.9	0	100
繰越金	45,724,000	45,724,058	45,724,058	14.0	0	100
諸収入	4,802,000	6,070,309	6,070,309	1.9	0	100
歳入合計	311,179,000	330,020,153	325,613,851	100	4,406,302	98.7

(歳出)

款	予算現額	支出済額	構成比	不用額	執行率
総務費	14,944,000	14,454,679	5.4	489,321	96.7
保険給付費	257,525,000	248,271,931	92.3	9,253,069	96.4
保険施設費	263,000	121,187	—	141,813	46.1
公債費	250,000	0	—	250,000	0
諸支出費	108,000	0	—	108,000	0
子備費	31,860,000	0	—	31,860,000	0
老人保健拠出金	6,229,000	6,227,578	2.3	1,422	99.98
歳出合計	311,179,000	269,075,375	100	42,103,625	86.5

歳入歳出差引残額 56,538,476円

### 老人保健特別会計決算

(歳入)

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収入未済額	徴収率
支払基金交付金	12,758,000	12,760,000	12,760,000	63.6	0	100
国庫支出金	2,848,000	2,726,000	2,726,000	13.6	0	100
県支出金	712,000	712,000	712,000	3.5	0	100
繰入金	3,882,000	3,882,000	3,882,000	19.3	0	100
諸収入	2,000	0	0	—	0	—
歳入合計	20,202,000	20,080,000	20,080,000	100	0	100

(歳出)

款	予算現額	支出済額	構成比	不用額	執行率
療養諸費	20,202,000	11,078,403	100	9,123,597	54.8
歳出合計	20,202,000	11,078,403	100	9,123,597	54.8

歳入歳出差引残額 9,001,597円



## 特別会計決算

### 簡易水道事業 特別会計決算

(単位：円)

区分	決算額	比率
歳入合計	273,294,924	99.97
歳出合計	264,474,730	99.6

歳入歳出差引残額 8,820,194円  
うち基金繰入額 6,154,416円

### 住宅新築資金貸付事業 特別会計決算

(単位：円)

区分	決算額	比率
歳入合計	25,562,460	98.4
歳出合計	25,471,971	99.0

歳入歳出差引残額 90,489円

⑨ 比率… { 歳入は徴収率  
歳出は執行率

### 飲酒運転は モラルの問題



わたしは絶対に飲酒運転をしない、という自覚を

坂倉とうご (日本社会党)	五九九票
藤波 孝生 (自由民主党)	一、七四四票
田村 元 (自由民主党)	一、一八八票
野呂 昭彦 (自由民主党)	七七八票
大東 政司 (日本共産党)	七一票
角屋堅次郎 (日本社会党)	七八四票
前川 逸男 (統一社会民主党)	一七票

選挙当日有権者数 六、六六五名  
投票者数 五、一六二名  
投票率 七七・四五%

### 衆院選の結果

(度会町開票区)

58年12月18日執行

# 完 成

## 待望の内小屋内運動場

総工費一億一、一四九万四千円

本町学校施設の改築計画の第二弾として進めてきた内城田小学校屋内運動場が、去る十二月二十日完成し、二十二日にはこの完成を祝って竣工式が挙行されました。



神ヶ岳を主峰とする五里山の山々と、宮川の美しい流れを前にした景勝の地にその全容を現わした体育館は、  
▽鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）  
▽建築面積 七二五・四平方メートル  
▽設計・監理 大橋治郎建築設計事務所

▽施工 大吉建設有限会社  
▽経費  
○建築工事費（設計監理料を含む） 一億四七万六千円  
○外構工事費、備品購入費等 六九一万八千円

合計 一億一、一四九万四千円  
○財源  
○国庫補助金 四、六六三万三千元



○郵便局の簡易生命保険積立金による起債 四、二五〇万円

○一般財源 二、二三六万一千円  
の近代的な建物です。

竣工式には、県教育事務所長を始め、内城田地区区長、PTA代表、町議会議員、内城田小学校教諭、の臨席を得てその完成を祝いました。また児童を代表しての東出崇君も、喜びと期待の気持ちを発表してくれました。この体育館の完成をはずみにして、明るく、たくましく、心豊かな子供達が育っていくことを期待いたします。

## 飛瀬浦橋完成する

県道川口地内



昨年の八月、集中豪雨により流失した、伊勢—南島を結ぶ主要地方道（県道二十二号線）の川口地内に架かる飛瀬浦橋が災害復旧及び橋梁整備事業として総工費二億三千二百二十五万九千円で昭和五十七年十二月に着工し、急ピッチで工事が進められていましたが、このほど橋梁部分が完成し県、町及び関係業者が列席し地元のみなさんが見守るなか渡初式が執り行われました。

完成した新橋は、全長五十メートル幅員十一メートルで合成桁橋構造による、中間ビヤのないスツキリした橋姿に成りました。

この飛瀬浦橋の南島方面より伊勢、松阪方面への交通量は一日三千台余の車輛が通り期間中は交通渋滞が激しく、交通事故防止と相俟って地域のみなさんから一日も早い完成が待ち望まれていたものです。



# 茶会度く輝に賞地産

## わたらい茶の名声全国へ

### 全国 関西茶品評会でもいづれも上位入賞

昭和五十八年度の全国・関西・三重県茶品評会が、それぞれ昨年の十月から十一月にかけて実施され、町の出品者が多数入賞しました。また、同時に本年度の産地賞を本町が獲得しました。町の持産物として、順調な歩みが続けてきた茶業生産も、最近の揺れ動く農業情勢のご多聞に洩れず、高品質、合理化生産が強く求められるようになってきました。

このような中で出品者は全員品質の向上にまた、生産の合理化に努められ、それぞれの品評会で「わたらい茶」の名声を高めてくれました。

今後とも「わたらい茶」の振興に情熱を注いでいただくようお願いいたします。

#### 出品された皆さん

##### 37回全国茶品評会

- 普通煎茶—
- 山根 清 (田口) 2等
- 山根良平 (田口) 2等
- 玉村 哲 (田間) 3等
- 中西善行 (平生)

##### 36回関西茶品評会

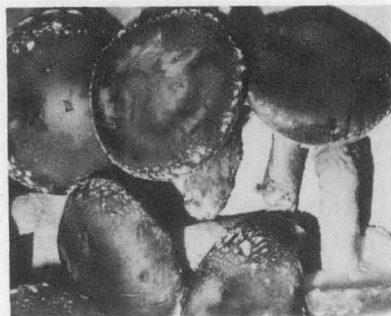
- 普通煎茶—
- 西村寿郎 (大野木) 清水 寿 (牧戸) 深むし煎茶—
- 大西 保 (棚橋) 広 幸昭 (棚橋) 中村順一 (棚橋) 畑中藤治 (立岡)

- 北村晴美 (長原) 1等
- 喜多寿一 (田口) 2等
- 山口 寿 (田口) 2等
- 石井政雄 (下久具) 3等
- 中村順一 (棚橋) 3等
- 玉村順義 (田間) 3等
- 井戸本栄司 (牧戸) 3等
- 山根久男 (田口) 岡村貞夫 (棚橋) 坂本茂行 (大久保) 喜多嘉兵衛 (田口) 清水敬一 (牧戸) 尾崎良美 (当津) 西村卓一 (平生) 大西 保 (棚橋) 大西美里 (鮎川) 尾崎官次 (当津)



## 生しいたけ品評会

### 奥野富士雄さんに町長賞



町の林業持産物の一つとして、その振興が望まれる生しいたけの品評会(度会町農協主催・第五回)が去る十月二十九日、度会町農協会館において行われました。

原木不足と他県からの調達による伐期管理の問題、それに消費者の好みの高度化など、生産者は、厳しい難問に直面していますが、それぞれ研究を重ね、

#### 坂本安正 (大久保)

##### 17回三重県茶品評会

- 普通煎茶—
- 山口 寿 (田口) 3等
- 山根 清 (田口) 3等
- 清水昭雄 (牧戸) 井戸本栄司 (牧戸) 山根岩男 (田口) 深むし煎茶—
- 広 幸昭 (棚橋) 1等 (東海農政局長賞)

#### 畑中藤治 (立岡) 2等

#### 大西 保 (棚橋) 3等

#### 中村順一 (棚橋) 3等

#### 早川慶治郎 (立岡)

#### 中森文夫 (大久保)

#### 広 良松 (棚橋)

#### 世古和生 (鮎川)

#### 58年度産地賞—

#### 1位 度会町

#### 2位 大台町

#### 3位 菰野町

品質の向上を目指しております。今回受賞された方々を始め、生しいたけ生産者の皆さん/地場産業の発展のためにも更に生産性の向上に努められるよう期待いたします。

#### 受賞された皆さん

##### 〔町長賞〕

奥野富士雄 (坂 井)

##### 〔青果市場賞〕

森田 弘 (坂 井)

##### 〔具経済連伊勢支所長〕

中井宏美 (立 花)

##### 〔農業改良普及所長賞〕

尾崎清美 (当 津)

##### 〔度会町農協組合長賞〕

広 修一 (注連指)

##### 〔稚たけ生産部会長賞〕

北村康己 (上久具)





# 善意の大江文庫

ご免下さい  
二十年の年月をお世話様になつた大江です。  
一之瀬では長い間お世話様になり厚くお礼申し上げます。忘れもしませぬ・・・

(名古屋市長 大江たつゑ)

との書き出しに始まる一通の手紙が、十万円のお金とともに昨年の9月に役場に届けられました。

町では、心うたれる文面に感動し、また差出し人の心情を察する時、この多額の金額を何んとしても有効に活用させていただかなければならないと、町長以下検討を重ねてまいりました。十八年前に名古屋へ転出された大江さん一家と、今でもご交際があるという南中村の井口保

丸さんを尋ね、いろいろとお聞きするうちご家族の労苦を改めて察することができました。

御主人は既に他界されているとのことですが、たつゑさんは今でも元気に仕事を続けられ、また独立されているお子さん達とは、とにかく仲の良いすばらしい親子であると聞かされたのでした。

大江さんの志を活かすには、やはり一番懐しく思われている一之瀬地区の人々にご利用願うのが良いだろうと、一之瀬小学校へ「大江文庫」を設置させていただきました。

大江さん、ほんとうにありがとうございました。あなたが持ってきた子供達の心の中につまでも生きつづけることですよ。

晋の予讓は衣を破く。主人の仇を仇人の服を刺して討つ

昭和十三年の春、私達の郷土部隊は、京漢線上の「順徳」と言う町に駐屯して居たことがあつた。旧田丸町ほどの小さな町の城内には歩兵三十三聯隊が、城外の師範学校には私達砲兵部隊が居た。

或る日曜日の暖かい日であつた。私が一人で城外を歩いていたら道路の右側に小さな流れが



あり石の橋が架けてあつた。橋を渡ると牧草地が広がり暖かい春の日ざしが河北省の戦場にあることを忘れさせた。その橋は「予讓橋」と言い、側に建っている石碑に「予讓」のことが漢文で記されてあつた。

今を去る、約二千五百年前の附近を占領していた「晋」の国は他の六ヶ国よりも強大であつたが家老達の中に勢力のある者が四人出て国政はこの四家老、即ち「知伯氏」「魏氏」「韓氏」「趙氏」に思う様にされていた。

中でも「知伯」は頭のよい実力者で他の三人を押えて勢力があり、やがては晋の国は「知伯」に統合されるかに見えた。

趙氏の当主は「無恤」と言い、堅実で誠意のある人であつた。しかし少しぼんくらに見え、他の二人の家老達からも馬鹿にされていたが「知伯」には事ごとくに反対意見を出すので「知伯」は大変に嫌つていた。

やがて「知伯」は、他の家老「魏氏」「韓氏」を誘つて晋陽

## 中国故事略伝

立花

(現在の山東省大平県)と云う町へ「趙無恤」を追い込み攻撃を加えた。

晋陽の町の人びとは「趙無恤」の父である「趙簡子」の世話になつた事があり、仁政を施されていたので皆協力一致して一命を捨てても町を守ろうと決意した。

晋陽の町は三人の家老の軍勢に水攻に逢つて城壁が浸水し、町の家々は水面上に二メートルほど見えているだけで「カマド」から蛙が生れる程であつたと言

う。しかし町の人びとは誰一人として裏切る様な者はなかつた。城主の「趙無恤」は、もうこれまでと自殺しようと思つた。住民を助けようと思つた。

家臣のある者が自殺を止め、夜中、水の中を渡り「魏氏」と「韓氏」の所へ行き「知伯」の陣へ水を流して彼を破り三人で彼の領地を分けるように相談なさい」と言つた。無恤はそれに従い夜中に舟を出し「韓氏」の陣へ行き「魏氏」と三人で連

### 第三話の

羽根文夫

合して「知伯」を破ることを話しかけた。彼等も同意して水攻めに使用した堤防を「知伯」の陣地に向けて切つた。水は不意に「知伯」の軍勢を呑み「知伯」は戦死し、彼の領地は約束どおり「魏氏」「韓氏」「趙氏」の三人で分け遂に主家の晋を亡ぼした。

之より以後約二千年を中国では春秋時代に次いで戦国時代と呼ばれる。戦国時代は文字とお呼り七ヶ国が戦いを続けやがて秦に統一されるのである。

# お知らせ版



## 入学者募集

### 衛生看護学校

三重県立桑名高等学校衛生看護分校では、次により入学者を募集しています。

▽募集人員 四十名  
▽応募資格 衛生看護専攻科

高等学校を卒業した者、又は昭和五十九年三月卒業見込みの者で、准看護婦の資格を有する者、又は昭和五十九年三

月取得見込みの者  
▽出願手続

次の書類を県立桑名高等学校長あてに提出(提出先は衛生看護分校)し、受験票を受けとる。

- ①入学願書、収入証紙納入書(入学選抜手数料八五〇円の県収入証紙を貼付)
- ②卒業(見込)証明書(高等学校と准看護婦学校)
- ③准看護婦免許証の写し(取得見込みの者は除く)
- ④調査書(大学進学用の用紙)

## 電報電話局からのお願い

日ごろは、電報電話をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

お客様の転居、入居に際し、できるだけ早く電話をご利用いただくために、お客様が転居等で電話を移転される場合は、電話局へご一報のうえ電話機はそのままで残して置いていただくこととしました。

新しく次の方が入居される時に電話局内の交換機のみので工事で早くご使用になれます。

なお、詳しくは電報電話局(0596)24-4219へお問い合わせください。  
**伊勢電報電話局**

## 三歳児健診の未受診の方へ

昭和五十八年度の三歳児健診は、昨年十一月で一応終了しましたが、毎月伊勢保健所で行われていますので未健診の子供さんは、受けられるようおすすめ

します。  
日時  
二月九日(木)  
午後一時～午後二時  
三月八日(木)  
午後一時～午後二時  
場所  
県総合庁舎一階  
伊勢保健所



おめでた

### 〇十一月中旬に届出のもの

▽出願期間  
昭和五十九年二月十五日から二月二十五日(日曜日を除く)  
受付時間は午前九時から午後四時(土曜日は十二時まで)  
▽詳細については、左記の学校に問い合わせてください。  
桑名市東方字尾引田一〇七三  
三重県立桑名高等学校、衛生看護科  
☎(0594)22-8515

## 自衛官募集中

来春高校卒業予定者のみなさんへ。  
各種自衛官採用の受付けを開始しております。  
受験を希望される方は、町役場へお問い合わせください。

氏名	父名	続柄	字名
清水隆裕	敬一	長男	牧戸
山中一輝	正	長男	坂井
山本浩二	敏二	二男	麻加江
岡野佑樹	勝	長男	小萩
尾崎広樹	豊	二男	當津
上村昌志	富士夫	長男	田口
西岡直樹	作美	二男	和井野
森田雄介	克彦	長男	棚橋
浦田麻衣	憲一	四女	大久保
森本実希	富也	長女	長原
油家慎弥	多真樹	長男	長原
中井絵里奈	拾行	長女	棚橋
西村真実子	倫男	長女	葛原

### おくやみ

### 〇十一月中旬に届出のもの

氏名	年齢	字名
中西 秋蔵	70歳	下久具
林 元吉	79歳	注連指
大上 幸松	87歳	棚橋

### 〇十二月中旬に届出のもの

氏名	年齢	字名
高橋 かね	72歳	市場
松原 貞市	75歳	注連指
山本 憲次	80歳	大久保